

## 令和3年度認定看護管理者教育課程募集要項【研修 No. 66・67・68】

### ■教育理念

社会環境の変化と多様なヘルスニーズに応えるために、質の高い看護サービスを提供できる組織づくりをめざす看護管理者を育成し、保健医療福祉の向上に貢献する。

### ■教育目的・到達目標・教育課程・開催期間

	ファーストレベル	セカンドレベル	サードレベル
<b>教育目的</b>	看護専門職として必要な管理に関する基本的知識・技術・態度を習得する。	看護管理者として基本的責務を遂行するために必要な知識・技術・態度を習得する。	多様なヘルスケアニーズを持つ個人、家族、地域住民及び社会に対して、質の高い組織的看護サービスを提供するために必要な知識・技術・態度を習得する。
<b>到達目標</b>	<ol style="list-style-type: none"> <li>ヘルスケアシステムの構造と現状を理解できる。</li> <li>組織的看護サービス提供上の諸問題を客観的に分析できる。</li> <li>看護管理者の役割と活動を理解し、これからの看護管理者のあり方を考察できる。</li> </ol>	<ol style="list-style-type: none"> <li>組織の理念と看護部門の理念の整合性を図りながら担当部署の目標を設定し、達成に向けた看護管理過程を展開できる。</li> <li>保健・医療・福祉サービスを提供するための質管理ができる。</li> </ol>	<ol style="list-style-type: none"> <li>保健医療福祉の政策動向を理解し、それらが看護管理に与える影響を考察することができる。</li> <li>社会が求めるヘルスケアサービスを提供するために、看護現場の現状を分析し、データ化して提示することができる。</li> <li>経営管理の視点に立ったマネジメントが展開できる。</li> </ol>
<b>教育課程</b>	ヘルスケアシステム論Ⅰ（15時間） ・社会保障制度概論 ・保健医療福祉サービスの提供体制 ・ヘルスケアサービスにおける看護の役割	ヘルスケアシステム論Ⅱ（15時間） ・社会保障制度の現状と課題 ・保健医療福祉サービスの現状と課題 ・ヘルスケアサービスにおける多職種連携	ヘルスケアシステム論Ⅲ（30時間） ・社会保障制度・政策の動向 ・看護制度・政策の動向 ・ヘルスケアサービスの創造
	組織管理論Ⅰ（15時間） ・組織マネジメント概論 ・看護実践における倫理	組織管理論Ⅱ（30時間） ・組織マネジメントの実際 ・看護管理における倫理	組織管理論Ⅲ（30時間） ・組織デザインと組織運営 ・組織における倫理
	人材管理Ⅰ（30時間） ・労務管理の基礎知識 ・看護チームのマネジメント ・人材育成の基礎知識	人材管理Ⅱ（45時間） ・人事・労務管理 ・多職種チームのマネジメント ・人材を育てるマネジメント	人材管理Ⅲ（15時間） ・社会システムと労務管理 ・看護管理者の育成
	資源管理Ⅰ（15時間） ・経営資源と管理の基礎知識 ・看護実践における情報管理	資源管理Ⅱ（15時間） ・経営資源と管理の実際 ・看護管理における情報管理	資源管理Ⅲ（30時間） ・経営戦略 ・財務管理 ・組織的情報管理
	質管理Ⅰ（15時間） ・看護サービスの質管理	質管理Ⅱ（30時間） ・看護サービスの質保証 ・安全管理	質管理Ⅲ（30時間） ・経営と質管理 ・組織の安全管理
	総合演習Ⅰ（15時間） ・演習	総合演習Ⅱ（45時間） ・演習 ・実習	統合演習Ⅲ（45時間） ・演習 ・実習
	計 105 時間	計 180 時間	計 180 時間
	<b>開催期間</b> ◆開催期間 令和3年6月上旬～ ◆研修時間 10：00～16：00 ※追加開催となった場合、日程（前期・後期）の選択はできません。 ※開催期間・日程については変更する場合があります。	<b>開催期間</b> ◆開催期間 令和3年6月上旬～ ◆研修時間 10：00～16：00 ※開催期間・日程については変更する場合があります。	<b>開催期間</b> ◆開催期間 令和3年9月下旬～ ◆研修時間 10：00～16：00 ※開催期間・日程については変更する場合があります。

■募集概要

	ファーストレベル	セカンドレベル	サードレベル
受講条件	1. 日本国の看護師免許を有する者。 2. 看護師免許を取得後、実務経験が通算5年以上ある者。 3. 管理業務に関心がある者。	1. 日本国の看護師免許を有する者。 2. 看護師免許を取得後、実務経験が通算5年以上ある者。 3. 認定看護管理者教育課程ファーストレベルを修了している者。 または、看護部長相当の職位にある者、もしくは副看護部長相当の職位に1年以上就いている者	1. 日本国の看護師免許を有する者。 2. 看護師免許を取得後、実務経験が通算5年以上ある者。 3. 認定看護管理者教育課程セカンドレベルを修了している者。または、看護部長相当の職位にある者、もしくは副看護部長相当の職位に1年以上就いている者。
応募期間	令和3年4月1日(木)～4月13日(火)17時必着	令和3年4月1日(木)～4月13日(火)17時必着	令和3年7月1日(木)～7月16日(金)17時必着
定員	50名 ※応募者多数の場合は後期に追加開催を予定します。	30名	30名
審査料	無し	11,000円 ※受講申込受理後に振込方法を郵送いたします。	11,000円 ※受講申込受理後に振込方法を郵送いたします。
受講料	会員：120,000円 非会員：200,000円 ※納入された受講料は原則返金しません	会員：186,000円 非会員：280,000円 ※納入された受講料は原則返金しません	会員：226,000円 非会員：340,000円 ※納入された受講料は原則返金しません
修了審査料	1教科目 3,000円 (再審査の場合 1教科目 3,000円) ※納入された修了審査料は原則返金しません。		
提出書類	①認定看護管理者教育課程 受講申込書〈様式2〉 ②看護師免許の写し ③受講動機 ◆作成規定 ・パソコンを使用 ・200字程度 ・余白 左3.0cm 右3.0cm 上3.5cm 下3.0cm ・MS明朝 10.5ポイント	①認定看護管理者教育課程 受講申込書〈様式2〉 ②看護師免許の写し ③ファーストレベル教育課程を修了している者は、ファーストレベル修了書の写し ④看護部長または副看護部長の職位にある者は、勤務証明書〈様式3〉 ⑤課題レポート ◆課題 「あなたが看護管理者として取り組もうとしている課題」についてテーマを付けて述べなさい ◆作成規定 ・パソコンを使用 ・800～1,000字以内 ・余白 左3.0cm 右3.0cm 上3.5cm 下3.0cm ・MS明朝 10.5ポイント ※1部は、所属・氏名を記入、もう1部は所属・氏名無記入(審査用)とし、計2部提出すること。	①認定看護管理者教育課程 受講申込書〈様式2〉 ②看護師免許の写し ③セカンドレベル教育課程を修了している者は、セカンドレベル修了書の写し ④看護部長または副看護部長の職位にある者は、勤務証明書〈様式3〉 ⑤課題レポート ◆課題： 「自組織の経営的課題」についてテーマを付けて述べなさい ◆作成規定 ・パソコンを使用 ・800～1,000字以内 ・余白 左3.0cm 右3.0cm 上3.5cm 下3.0cm ・MS明朝 10.5ポイント ※1部は、所属・氏名を記入、もう1部は所属・氏名無記入(審査用)とし、計2部提出すること。

	ファーストレベル	セカンドレベル	サードレベル																																							
提出書類チェックリスト	<input type="checkbox"/> ①受講申込書<様式2> <input type="checkbox"/> ②看護師免許の写し <input type="checkbox"/> ③受講動機	<input type="checkbox"/> ①受講申込書<様式2> <input type="checkbox"/> ②看護師免許の写し <input type="checkbox"/> ③課題レポート <input type="checkbox"/> ④受講要件確認書 (a・bのいずれか1つ) a ファーストレベル修了書の写し b 勤務証明書<様式3>	<input type="checkbox"/> ①受講申込書<様式2> <input type="checkbox"/> ②看護師免許の写し <input type="checkbox"/> ③課題レポート <input type="checkbox"/> ④受講要件確認書 (a・bのいずれか1つ) a セカンドレベル修了書の写し b 勤務証明書<様式3>																																							
選考方法	1. 受講要件を満たしていること 2. 提出書類に不備がないこと 3. 受講選考は、認定看護管理者教育運営委員会において実施し決定する	1. 受講要件を満たしていること 2. 提出書類に不備がないこと 3. 課題レポートにより選考する (定員を上回る場合は、点数の高い者より選考する) 4. 定員を下回る場合は、認定看護管理者教育運営委員会により追加募集について検討する 5. 受講選考は、認定看護管理者教育運営委員会において実施し決定する																																								
レポート評価基準・評価尺度・選考基準	<p>【評価基準】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>評価の視点</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">I 課題の理解 (4点)</td> <td>1 与えられたテーマを十分理解している</td> </tr> <tr> <td>2 課題に対する問題意識が明確である</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">II 論述能力 (12点)</td> <td>1 事実やデータに基づいた記述である</td> </tr> <tr> <td>2 論旨に一貫性がある</td> </tr> <tr> <td>3 適切な言葉、表現を用いている</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">III 文章能力 (12点)</td> <td>1 主語・述語、起承転結が適切である</td> </tr> <tr> <td>2 誤字・脱字がない</td> </tr> <tr> <td>3 誤字・脱字がない</td> </tr> </tbody> </table> <p>【評価尺度】</p> <table border="1"> <tbody> <tr> <td>4点</td> <td>できている</td> </tr> <tr> <td>3点</td> <td>大体できている</td> </tr> <tr> <td>2点</td> <td>あまりできていない</td> </tr> <tr> <td>1点</td> <td>できていない</td> </tr> </tbody> </table> <p>【選考基準】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>割合</th> <th>点数</th> <th>合否</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>A</td> <td>80%以上</td> <td>22点以上</td> <td rowspan="3">合格</td> </tr> <tr> <td>B</td> <td>70~79%</td> <td>19~22点未満</td> </tr> <tr> <td>C</td> <td>60~69%</td> <td>16~19点未満</td> </tr> <tr> <td>D</td> <td>59%以下</td> <td>16点未満</td> <td>不合格</td> </tr> </tbody> </table>			項目	評価の視点	I 課題の理解 (4点)	1 与えられたテーマを十分理解している	2 課題に対する問題意識が明確である	II 論述能力 (12点)	1 事実やデータに基づいた記述である	2 論旨に一貫性がある	3 適切な言葉、表現を用いている	III 文章能力 (12点)	1 主語・述語、起承転結が適切である	2 誤字・脱字がない	3 誤字・脱字がない	4点	できている	3点	大体できている	2点	あまりできていない	1点	できていない		割合	点数	合否	A	80%以上	22点以上	合格	B	70~79%	19~22点未満	C	60~69%	16~19点未満	D	59%以下	16点未満	不合格
項目	評価の視点																																									
I 課題の理解 (4点)	1 与えられたテーマを十分理解している																																									
	2 課題に対する問題意識が明確である																																									
II 論述能力 (12点)	1 事実やデータに基づいた記述である																																									
	2 論旨に一貫性がある																																									
	3 適切な言葉、表現を用いている																																									
III 文章能力 (12点)	1 主語・述語、起承転結が適切である																																									
	2 誤字・脱字がない																																									
	3 誤字・脱字がない																																									
4点	できている																																									
3点	大体できている																																									
2点	あまりできていない																																									
1点	できていない																																									
	割合	点数	合否																																							
A	80%以上	22点以上	合格																																							
B	70~79%	19~22点未満																																								
C	60~69%	16~19点未満																																								
D	59%以下	16点未満	不合格																																							
受講決定	1. 認定看護管理者教育運営委員会の審議を経て決定します。 2. 受講の可否は応募者個人宛てに文書で通知します。 3. 受講決定者には、学習要項等を送付します。																																									

申込方法

1. FAX, E-mail での申込受付不可。
  2. 提出書類は過不足の無いように準備し、郵送または持参にてお申し込みください。
  3. 書類に不備があった場合は、受け付けられません。
  4. 申込書類等は、茨城県看護協会のホームページからもダウンロードできます。
- ◆送付先  
〒310-0034 茨城県水戸市緑町 3-5-35 公益社団法人茨城県看護協会 認定看護管理者教育担当 宛
- ※封筒の表に  
「ファーストレベル受講申込」 or 「セカンドレベル受講申込」 or 「サードレベル受講申込」と記載  
募集期間内必着

修了審査方法

1. 各教科目で教育機関の定める成績を修めている。
2. 認定看護管理者教育課程に必要な各教科目の所定の時間数 4/5 以上の出席がある。

その他

1. 受講決定後に受講をキャンセルされる場合は、電話で連絡のうえ受講中止依頼書を提出してください。
2. 受講料は期日までに納入してください。尚、納入された受講料は原則として返金いたしません。
3. 受講決定後に、氏名の変更・勤務先の変更があった場合は、研修開始前に必ずご連絡ください。
4. 当協会の個人情報管理規定に基づき、個人情報の取得・利用を適切に行います。提出された個人情報に関しては、研修会に伴う書類作成・発送に用いこの利用範囲を超えて個人情報を取り扱うことはいたしません。
5. 提出された書類は、返却いたしません。